



(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

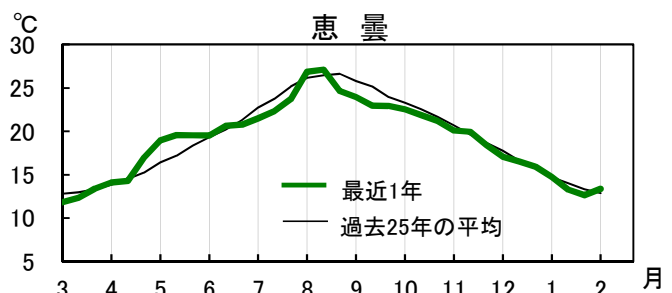
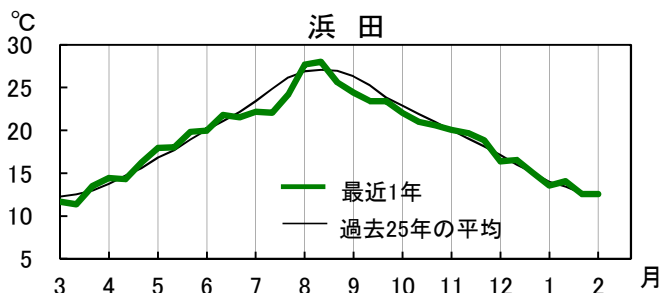
<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《1～2月の海況》

1月	月平均	平年差	評価
浜田	13.4℃	+0.1℃	平年並み
恵曇	13.4℃	-0.5℃	やや低め

沿岸定地水温は、浜田地区では1月は、上旬は「平年並み」、中旬は「やや高め」、下旬は「平年並み」と変動しました。恵曇地区では1月は、上・中旬は「平年並み」でしたが、下旬は「やや低め」となりました。2月に入り上旬時点では両地区とも「やや高め」で経過しています。



《1月の漁況》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではサバ類主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は45.8トンで平年並みとなりました。魚種別の動向で見ると、マアジは5トンで平年の1割以下だったものの、サバ類が313トンで平年の1.7倍となりました。隠岐地区ではサバ類、マアジ、ブリ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は、30.3トンで平年を下回りました。魚種別の動向で見ると、サバ類は1,467トン、マアジは449トン、ブリは121トンでそれぞれ平年の2割から7割程度となりました。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではスルメイカ主体(全体の86%)で、ヤリイカ(同14%)とケンサキイカ(同1%未満)も混じる漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は836kgで平年並みでした。一方、西郷地区(属人5トン以上)ではスルメイカ主体(同95%)で、ヤリイカ(同5%)も混じる漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は124kgで平年並みでした。

【沖合底びき網漁業】

浜田地区ではヤリイカ、マフグ、ソウハチ主体の漁獲で、1統1航海当たり漁獲量は13.9トンでは前年の7割、平年の9割の水揚げとなりました。魚種別の動向(総漁獲量)は、ヤリイカは平年の4.0倍と極めて多く、マフグは平年の8割、ソウハチは平年の7割でした。その他、アンコウは平年並み、ミズダコは平年の1.6倍、ニギスは平年の2.0倍、ムシガレイは平年の5割の水揚げでした。

【小型底びき網漁業】

大田地区(和江・久手)ではソウハチ、ヒレグロ、アカガレイが主体で、1統1航海当たり漁獲量は722kgで前年の1.2倍、平年並の水揚げとなりましたが、荒天により出漁日数が少なかったため総漁獲量では平年の6割となりました。魚種別の動向(総漁獲量)は、ソウハチ・ヒレグロはいずれも平年の6割、アカガレイは平年の9割の水揚げでした。その他、アンコウは平年の7割、ニギスは平年の6割、キダイは平年の1.1倍、マトウダイは平年の8割の水揚げでした。

【定置網漁業】

出雲地区ではサワラ類、ヤリイカ、サバ類主体の漁況で、1統当り漁獲量は22.1トンで平年1.2倍の水揚げとなりました。魚種別の動向で見ると、サワラ類、サバ類がそれぞれ平年の3.6倍、サバ類が10倍の水揚げでした。石見地区ではサバ類、ヤリイカ、スズキ主体の漁況で、1統当り漁獲量は19トンで平年の4.4倍の水揚げとなりました。魚種別の動向で見ると、サバ類が平年の50倍と好調で、ヤリイカ、スズキも7倍から8倍の水揚げとなりました。隠岐地区ではマアジ、ヤリイカ、スルメイカ主体の漁況で、1統当り漁獲量は9トンで平年の2割の水揚げとなりました。魚種別の動向で見ると、マアジは平年の5倍、ヤリイカは1.3倍の水揚げでしたが、この時期良く漁獲されるスルメイカは平年の2%となり、極めて不漁でした。また、ブリも1割以下の水揚げとなりました。

【釣・縄】

出雲地区ではサワラ類、ブリ、ヤリイカが主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は53kgで平年並みでした。石見地区でブリ、サワラ類が主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は26kgで平年を下回りました。隠岐地区ではブリ、ヤリイカが主に漁獲され、1隻1航海当りの漁獲量は27kgで平年を下回りました。

【平成 28 年 1 月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	サバ類	321トン	63%	111%	45.8トン	107%	124%	○
	隠岐	サバ類、マアジ、ブリ	2,211トン	77%	48%	30.3トン	86%	56%	▲
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	43トン	42%	75%	836kg	25%	58%	○
	西郷	スルメイカ	1トン	4%	15%	124kg	53%	88%	○
沖合 底びき網	浜田	ヤリイカ、マフグ、ソウハチ	302トン	82%	91%	13.9トン	71%	90%	○
小型底曳網	大田	ソウハチ、ヒレグロ、アカガレイ	166トン	65%	64%	722kg	117%	98%	○
定置網 (大型)	出雲	サワラ類、ヤリイカ、サバ類	155トン	111%	122%	22.1トン	111%	122%	◎
	石見	サバ類、ヤリイカ、スズキ	57トン	2500%	629%	19トン	833%	436%	◎
	隠岐	マアジ、ヤリイカ、スルメイカ	18トン	7%	16%	9トン	7%	16%	▲
釣り・縄	出雲	サワラ類、ブリ、ヤリイカ	46トン	75%	71%	53kg	117%	112%	○
	石見	ブリ、サワラ類	15トン	44%	44%	26kg	74%	77%	▲
	隠岐	ブリ、ヤリイカ	9トン	31%	49%	27kg	47%	66%	▲

平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

大型定置網漁業は1統当り漁獲量です。

今月は「ケンサキイカ情報」はお休みです（5月号から再開する予定です）。